

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件名 那覇空港磁気探査業務（その2）

開札年月日 令和7年3月18日（落札決定日 令和7年4月9日）

入札執行官署 大阪航空局

落札金額 ￥100,709,400 -

落札者 大和探査技術株式会社

予定価格 ￥126,852,000 -

積算額 ￥126,852,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥115,320,000 -

調査基準価格 ￥102,297,413 - 調査基準価格の100/110 ￥92,997,649 -

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘要
	入札金額	入札金額	
大和探査技術株式会社	91,554,000		落札
株式会社南テクノ	95,320,000		
有限会社新エンジニアリング	97,000,000		
株式会社アースプラン	103,000,000		
株式会社テクノサーチ	108,400,000		
日本ジタン株式会社	115,000,000		
有限会社地下計測	135,000,000		
興亜開発株式会社	140,000,000		
株式会社地盤開発	191,312,000		
株式会社海邦技術	無効		
日本海上工事株式会社	辞退		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
 ※ 本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和7年4月9日に落札者を決定した。

低入札価格調査の実施概要（測量及び建設コンサルタント等）

件 名：那覇空港磁気探査業務（その2）

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者名：大和探査技術株式会社

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>調査対象者は、当局発注の「福岡空港磁気探査業務」を実施している他、平成27年度「福岡空港用地造成磁気探査」をはじめとした磁気探査を用いた不発弾の探査業務の完了実績について、過去3年で29件の実績を有している。</p> <p>当該調査は、那覇空港の誘導路ショルダー舗装及び緑地帯において磁気探査を実施し不発弾等の有無、埋設位置の把握を行う業務であることから、上記の経験を活かした効率的な業務遂行が可能であること、また業務に使用する測量、磁気探査、地中レーダーに使用する機材は全て自社保有の機材であり、一部バックホウ等のリース予定機材は一般的な機材でかつリース予定社とも20年の取引実績を有していることから、確実な作業の実施が可能と見込まれる。</p> <p>また、同種業務について経験も豊富で得意分野であることから、同時期の開札である「福岡空港磁気探査業務（その2）」、「松山空港磁気探査業務（その2）」及び当該業務に対し受注意欲が強く、そのため、各費用について採算割れの無いよう必要経費を確保しつつ削減を図り、当該価格で入札したものとしている。</p>
(2) 配置予定の技術者その他当該契約の履行体制	<p>管理技術者1名、担当技術者2名及び担当者13名の計16名が配置予定であり、管理技術者、担当技術者及び担当者について適正に業務分担がなされている。また、担当者は基本として1日当たり4名の配置を予定しているが、手持ち業務を考慮の上で、交代制や不測の事態を考慮し、配置予定技術者として記載した13名より配置を行うことを確認した。</p> <p>以上より、配置予定技術者は適切に配置されることが確認できたことから、履行体制に問題はないと思料される。</p>

<p>(3) 手持ちの建設コンサルタント業務等の状況</p>	<p>管理技術者1名、担当技術者2名及び担当者13名の手持業務（契約金額500万円以上の業務）を確認したところ、低入札価格調査資料の提出時点で管理技術者4件、担当技術者は3件、2件、担当者は2件（7名）、1件（5名）、0件（1名）であり、手持業務を5件以上担当している者は確認されなかった。</p> <p>また、最も手持業務の多い管理技術者についてヒアリングで確認したところ、低入札価格調査資料の提出後に履行期限を迎えた業務があり、現時点で継続している業務は1件であるため、現時点で業務量に余裕があることを確認できたことから、手持業務の量について、契約対象業務の実施に支障がないことを確認した。</p> <p>なお、担当者は基本として1日当たり4名の配置で業務を行うが、履行期間が長期にわたる案件のため、手持ち業務量を考慮の上で交代制や不測の事態を考慮し、13名を配置予定技術者として記載したことをヒアリングで確認した。</p>
<p>(4) 手持機械の状況</p>	<p>磁気探査のうち主たる業務である水平探査、レーダー探査に必要な磁気探査機や金属探知機、地中レーダー探査機や測量機器等について調査対象者が自ら保有しており、それ以外に必要なバックホウや夜間照明等の仮設関係機械については、リース契約にて適切に確保することとしていることから、当該業務での使用に支障はないものと思料される。</p>
<p>(5) 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した建設コンサルタント業務等の名称及び発注者</p>	<p>調査対象者より提出された当該調査業務と同種の磁気探査を用いた不発弾の探査業務実績は過去3か年で29件あり、その全てが実在することを確認した。</p> <p>なお、確認した29件において低入札案件が1件確認されたが、当該業務の発注者へのヒアリングにより適正に履行されたことが確認された。</p>
<p>(6) 経営内容</p>	<p>調査対象業者の経営状況は、直近3カ年分（令和3年7月1日～令和6年6月30日）の決算報告書等から、健全な経営が行われていると判断する。</p>

(7) (1)から(6)までの事情聴取した結果についての調査検討		各配置予定技術者の手持業務の状況や、過去において受注した同種業務の実績から、技術面において問題は認められなかったことから、契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるとは認められなかった。
(8) (5)の建設コンサルタント業務等の成績状況		過去に受注した調査業務は、いずれも問題なく履行されていることを確認した。
(9) 経営状況		問題なし。
(10) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
	建設コンサルタント登録等における消除等の履歴	無
(11) その他の必要な事項		無